

JUNICHI'S Café

広上マエストロの **全3回**
極上おもてなし談義

【おもてなし】

広上 淳一 (指揮者)

JUNICHI HIROKAMI, CONDUCTOR

広上淳一マエストロがコーヒー片手に、京都コンサートホールのカフェで様々なことを語る「Junichi's Café」。広上マエストロがおもてなし役として、京都ゆかりの達人たちをお招きし、多彩なお話を展開していきます。クラシック音楽と異分野が交差する面白さや疑問、可能性など、好奇心の源泉を語り合う極上の時間をお届けします。

【会場】京都コンサートホール1階
カフェ・コンチェルト

【時間】午後7時開始(午後8時終了予定)

【司会】高野 裕子(京都コンサートホール プロデューサー)

私たちが、前に立つ人？ 上に立つ人？

VOL 1

5.22 水

松浦 俊昭

(律宗大本山・壬生寺 貫主)

お坊さんと指揮者。職業は違えど、大きな共通点があります。それは、「大勢の人を導く」こと。あなたは、人の前に立ちますか？ 上に立ちますか？ それとも…?! 正しい方向へ人を導くためには、どのようなことが必要で、どのような人であるべきなのか、おふたりの思考を紐解いていきます。

もし指揮者がいたら？ いなかったら？

VOL 2

8.20 火

林 宗一郎

(能楽師 観世流シテ方)

能楽は、大勢の役者と演奏者で成り立っています。しかし、オーケストラのように「指揮者」はいません。どうして指揮者がいないのに、互いの集中力と緊張感を高め合っていくことができるのでしょうか？ 一方で、どうしてオーケストラには指揮者が必要なのでしょう？ 異分野の達人ふたりが「指揮者」の役割について考えます。

大失敗、したことがありますか？

VOL 3

12.12 木

笹岡 隆甫

(華道「未生流笹岡」家元)

その道の達人は、いつ見てもカッコよくて「完璧」! もちろんこれまで失敗なんてしたことない…わけがない!!! 普段は絶対に聞けないおふたりの“大失敗エピソード”を探ると同時に、失敗した時の“リカバリー方法”についても掘り下げていきます。

【参加費】無料(要ドリンク注文) 【申込】事前申込制(各回限定約30名/申込多数の場合抽選)

京都コンサートホール・ロームシアター京都Clubと京響友の会の会員様のみお申込みいただけます。各回の申込期間やお申込方法は、会員の皆様にお送りするご案内をご覧ください。

「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」会員(通称:Club会員)募集中!

嬉しい特典がたっぷり! 「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」にぜひご入会ください。

■入会金:無料 ■年会費:1,000円(税込) ■会員期間:毎年4月1日から翌年3月31日まで(いつでもご入会いただけます)

■入会方法:以下のいずれかの方法で、年会費をお支払いください。

- ①京都コンサートホールのホームページ(クレジットカードのみ)
- ②京都コンサートホールとロームシアター京都のチケットカウンター(現金のみ)
- ③郵便振替

※「京響友の会」の入会方法については、京都市交響楽団のホームページをご参照ください。

ご入会はこちら



京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

主催:京都コンサートホール
(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
京都市



京都コンサートホール・
ロームシアター京都Club・京響友の会

会員限定イベント

JUNICHI'S Café

広上マエストロの **全3回**
極上おもてなし談義

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、コンサートヘボウ管、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロバス響のポストを歴任。近年では、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、バルセロナ響、サントペテルブルク・フィル、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラの分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを成功に導いている。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。2020年「令和2年度京都新聞大賞」受賞。東京音楽大学教授。京都市立芸術大学客員教授。2008年4月から、京響第12代常任指揮者(2014年4月からミュージック・アドヴァイザーを兼務)及び京都市ジュニアオーケストラ・スーパーヴァイザー。2017年4月から札幌交響楽団友情客演指揮者、2021年9月からは日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)も務める。2020年4月から京響第13代常任指揮者兼芸術顧問、及び京都コンサートホール館長に就任。



【おもてなし】
広上 淳一 (指揮者)

JUNICHI HIROKAMI, CONDUCTOR

VOL.1 5.22 水

ゲスト

松浦 俊昭

(律宗大本山・壬生寺 貫主)
SHUNSHO MATSUURA

1967年京都市生まれ。龍谷大学文学部修士課程修了。お地藏さんの寺、壬生狂言・新選組ゆかりの寺である律宗大本山壬生寺貫主兼律宗総本山唐招提寺副執事長。13歳で得度し律宗徒弟となる。14歳で壬生大念仏講に入講し、以来重要無形民俗文化財「壬生狂言」の伝承に携わる。法話講演等を通じて、「京都をつなぐ無形文化遺産」に選定されている京都の伝統行事「地藏盆」や風習、文化などを、信仰に関わらず多くの方に広めている。特にスリランカの日本語学校で毎年地藏盆を開催し、仏教文化の交流を図っている。また壬生寺における庭園や文化財の公開において、創意工夫を凝らした取組をしている。



VOL.2 8.20 火

ゲスト

林 宗一郎

(能楽師観世流シテ方)
SOICHIRO HAYASHI

能楽師観世流シテ方。京観世五軒家のうち、唯一残る林喜右衛門家の十四代当主。1979年京都市生まれ。3歳で鞍馬天狗の花見役に初舞台。平成20年、流儀の準職分の認定を受ける。父 十三世林喜右衛門、及び二十六世観世宗家 観世清和に師事。京都を拠点に活動する。2020年、重要無形文化財総合指定を受ける。能楽の普及、また魅力を伝える活動として林定期能・宗一郎の会・MUGEN能・petit能を主催。京都を拠点として活動する。また歌舞伎俳優 市川海老蔵特別公演「源氏物語」「古典への誘い」ほかに出演し、日本の古典芸能の魅力を世界に伝えることを志している。京都、東京、岡山、鳥取の稽古場にて謡と仕舞の指南にあたり、レクチャーや体験講座などの普及活動を行う。京都の文化を伝える歴史的建築 有斐斎弘道館の保存・修復に参加し、能楽普及のための定期講座「能あそび」の会場として活用している。また関西セミナーハウス 修学院きらら山荘内能舞台にて、毎年新能を主催している。



VOL.3 12.12 木

ゲスト

笹岡 隆甫

(華道「未生流笹岡」家元)
RYUHO SASAOKA

1974年京都生まれ。京都大学工学部建築学科卒業。3歳より祖父である二代家元笹岡勲甫の指導を受け、2011年、三代家元を継承。舞台芸術としてのいけばなの可能性を追求し、日本・スイス 国交樹立150周年記念式典をはじめ、海外での公式行事でも、いけばなパフォーマンスを披露。2016年には、G7伊勢志摩サミットの会場装花を担当。東京2020オリンピック聖火リレーでは、京都府の最終ランナーを務めた。近著に「いけばな」(新潮新書)。華道「未生流笹岡」家元。京都ノートルダム女子大学客員教授。大正大学客員教授。京都市教育委員会委員。京都市の「DO YOU KYOTO?」大使として環境破壊防止を呼びかけている。ウェブマガジン「ほんのひととき」【笹岡隆甫 花の道しるべ from 京都】、ウェブマガジン「プレミアムジャパン」【笹岡隆甫「月々の花、月々の京」】を連載中。



京都コンサートホール

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地の26
地下鉄烏丸線「北山」駅 ①③出口より南へ徒歩5分

- 公式HP <https://www.kyotoconcerthall.org>
- Facebook 京都コンサートホール Kyoto Concert Hall
- X (旧Twitter) 京都コンサートホール @KCH_Kyoto
- Instagram 京都コンサートホール @kch_kyoto
- YouTube 京都コンサートホール
- 公式ブログ <https://www.kyotoconcerthall.org/blog>

